

令和2年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第4四半期 (R2年1～3月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町	売上額	☀	☹	☹	☹	☀	☹	☹	☹	☹
	仕入単価	☹	☹	☹	☹	☹	☹	☹	☹	☀
	採 算	☀	☹	☀	☹	☀	☹	☹	☹	☹
内	資金繰り	☹	☹	☀	☹	☹	☹	☹	☹	☹
	業界の業況	☹	☹	☀	☹	☹	☹	☹	☹	☹
北 信		↘ 悪化		↘ 悪化	↘ 悪化		↘ 悪化	↘ 悪化		↘ 悪化
県 内		新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しさを増している								
全 国※		-46.0↘	-8.6↘	-54.0↘	-58.5↘		-42.6↘	-55.6↘		

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

暖冬による雪不足に続き新型コロナウイルスの影響で2重苦となった(宿泊業)

顧客に迷惑がかからない様、当面の間、休業を検討している(飲食店業)

《北信》

新型コロナウイルスの影響で観光地の影響が危惧される(そば製造)

// で中国の部材が止まり、納期が未定となっている(総合建設業)

// で外食は減っているが、家庭内での消費が伸び売上が微増した(酒類販売)

料金の値上げや迎車料金を復活するも政府の自粛要請後は急激に売上が減少した(タクシー)

《県内》

県内全産業の1～3月期の業況判断DIは、前期に比べて8.5ポイント悪化のマイナス39.5となった。悪化は5期連続で、東日本大震災後以来の水準まで落ち込んだ。製造業は8.8ポイント悪化のマイナス43.5で、新型コロナにより幅広い業種で生産活動に支障が出ている

《全国》

全国の景況感新型コロナウイルスの影響により直近10年で最悪となった

産業全体：ほぼ全業種で悪化傾向となり今後の資金繰り等が懸念される

製 造 業：原材料高騰、受注低下、部品調達難に苦しむ

建 設 業：部品・資材の調達難により、工事未了や新規受注が出来ない

小 売 業：新型コロナウイルスの悪影響でかつて無いほどの悪化

サービス業：壊滅的な宿泊業をはじめ、すべての業種で大幅な業況の悪化

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」